



(一財)北海道バスケットボール協会 クラブチーム責任者説明会

(一財)北海道バスケットボール協会U15部会
競技会企画運営GL 和田圭吾



バスケットボール協会の目的

- バスケットボールの技術の研究や向上、普及や振興に関する基本方針を確立すること。
- 開催される競技会を主催し、運営すること。
- 審判技術の研究及び審判員の育成並びに認定、登録に関すること。

JBA ホームページ 『JBAの目的及び事業』より一部抜粋



バスケットボール協会の目的

- 指導者の研究並びに養成及び認定、登録に関すること
- 地域社会におけるバスケットボールグループの育成強化に関すること。
- バスケットボールに関する講習会を開催すること。

JBA ホームページ 『JBAの目的及び事業』より一部抜粋

U15部会の目的と役割

クラブ・ユース・中学校が

- ▶ **良好な関係**
- ▶ **円滑な大会運営**
- ▶ **正しい情報の伝達**

U15部会の目的と役割

U15部会は、
3 カテゴリー×14地区の
架け橋となれるよう
それぞれの立場を尊重し、
配慮しています

良好な関係づくりにむけて

- ▶ 選手の移籍
- ▶ 大会運営への参加
- ▶ 対戦相手・審判等への尊重
- ▶ 選手同士の尊重
- ▶ 携わる大人同士が顔見知り
大人同士が高め合える存在に！

円滑な大会運営の一役に

- 大会の成り立ちを知り関わることで選手の成長に還元される
- 受益者負担はお金だけではない
- 北海道全体の利益のため
- 選手にも手伝う場面をつくる

チームと選手が大会を支える！

正しい情報の伝達

- U15を指導する意味
- コーチングなどの指導スキル
- 移籍などの関するルールを把握

選手の幸せを優先に

勝敗と育成のバランスを大切に

北海道のU15の現状

- 中学校カテゴリー登録しなかった北海道にクラブチームが急激に増えている。
- U15チームの在り方や登録や移籍などの情報が正しく伝わっていない。
- 中学校・クラブ・ユースが参加する大会を明確にし、すみ分けを進めている。
- クラブに大会運営に積極的に関わり、受益者負担の意識の浸透を図っている。

クラブチームの種類

- 一般的なクラブチームと部活動の地域展開を目的としたクラブチームが存在。
- 中体連参加の要件を満たし、中体連主催大会への出場を希望する場合は、中学校区分での登録
- クラブチームに合同チームというルールは存在しない。
- 道協会主催大会では、1つの登録チームから、A/Bチームの編成での出場はできない。

ここからの内容を別の資料で ～JBAとHBA独自の取組～

- JBA『U15カテゴリーの登録・移籍と大会参加に関するお知らせ』2026/3/2

<https://u15.japanbasketball.jp/news/2678/>

- HBA各種資料

→この説明会後に

道協会ホームページへアップ



共通理解したいこと①

～大会出場について～

道協会主催大会

1. **U15クラブ選手権大会**
2. **Jr.ウィンター予選兼U15選手権**
3. **U14クラブ新人大会**

※9月末日までにU14が5名以上所属するクラブチームが8チーム以上いる場合に開催決定。

共通理解したいこと①

～大会出場について～

問い合わせが多い内容について

- 大会参加料の差
- 帯同審判が直前まで決まらない
- チーム内での不明瞭会計・活動の差
- MMCへの理解

共通理解したいこと②

～選手の移籍について～

■ 移籍は自由に行えるが、大会参加はできない。
 ※中学校チームに所属する3年生が、中体連後にクラブチームで活動するために移籍した場合は、Jr.ウインターカップ予選に出場することができる。
 (現中1まで、それ以降はできない)

■ 移籍の際、移籍元および移籍先両方の同意が必要
 (活動を保証することを目的)

共通理解したいこと③

～育成年代の指導について～

- 人格形成・人間教育
- 勝利と育成の両立
- 長期選手育成理論
- コーチングテクニック

共通理解したいこと③-1

～人格形成・人間教育について～

1. 自立・自律→礼儀、規律、全力を尽くすことの大切さ、敬意と品格
2. 協調・感謝→チームとの協調、気配り、コミュニケーション、周りへの感謝
3. スポーツ界への還元→努力、誠意、謙虚さ

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-1

～実際の事例を参考に～

1. 宿泊先で選手が騒がしくし、ホテルから注意を受ける ※責任者は不在
2. 試合中、選手が相手選手に暴言
3. 点差がついた相手チームに対して、おちよくなるような仕草・発言
4. 選手が審判のジャッジに対して、文句を言い、詰め寄る。

共通理解したいこと③-1

～人格形成・人間教育～

- バasketボールしかできない人材を育ててはいけない
- 規律正しさ・礼儀正しさ・尊重
- 勝って驕らず、負けて腐らず

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-2

～勝利と育成の両立～

- 結果だけを重視しない
偏った選手起用・結果だけの評価
- 敬意と品格という普遍的な価値観を基本として競い合うことの大切さを伝える
- 負けは破滅でも失敗でもない

共通理解したいこと③-2

～勝利と育成の両立～

- 常に勝利をめざし、良い競争を
- 主体性をもってプレーする選手
- 選手自身に責任をもたせる
- 質問することで考えることが当たり前

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-3

～長期選手育成理論～

- アスリートの発達段階に合わせた指導
- 成熟度に合わせた指導
- 細部にこだわり、精度と強度を高める
- ポジション早期特化を行わず、オールラウンドにプレーさせる

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-3

～コーチとして～

- マンツーマンの推進
- インテグリティの考え
- スキル習得と認知・判断の習得
- 年代に合った指導の特徴理解
- 教えすぎずに教える

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-3

～コーチとして～

- 練習日数・練習時間・練習量が過度な負担になっていないか？
- 選手や保護者はたくさんやりたい。コントロールはコーチの役割
- 部活動とクラブの両立が、オーバーワークにつながっている場合も

共通理解したいこと③-4

～コーチングスキル～

- 話し方のテクニック・言葉選び
- 練習課題の設定・難易度の調整
- 練習計画と練習順番・組み立て
- フィードバックの機会・方法
- 自己効力感の向上・やる気の持続

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

共通理解したいこと③-4

～コーチのアップデート～

- コーチは経験をもとにしている
- どこから学びを得るか
- 不易と流行
- バスケットボールを通じた人間教育
- 出会いが成長につながる

JBA ホームページ 『JBA指導指針2018』より一部抜粋

おわりに

～強い北海道から世界へ～

- ニーズの違いはあれど、「強い北海道」は共に目指したい
- 互いに切磋琢磨し、互いに協力し、尊重し合える関係でありたい
- 選手育成・コーチ養成・大会運営などすべてにおいて、同じビジョンで歩みたい
